



水張り

みずばり



水張りの種類



パネル張り



平張り



パネル張り (日本画)

概要

水張り（みずばり）は、紙を水で湿らせると膨張し、乾くと元のサイズに収縮するという性質を利用し木製パネルなどに張り込む方法のことです。これにより水性系の描画材（水彩画・日本画など）を用いて描く際、水分による紙面の波打ちやたるみを抑えることができ、鉛筆デッサンの際なども、木製パネルと紙がしっかりと固定され描きやすい描画面をつくることができます。

水張りの方法には「パネル張り」と「平張り」があります。「パネル張り」は、木製パネルサイズより一回り大きな紙を、パネル表面を覆うように張り込む方法で、パネル全体を描画面とすることができます。この際、一般的なパネル張りでは、水張りテープを用いて紙を固定しますが、日本画制作での和紙のパネル張りでは、テープの代わりにでんぷん糊を直接パネル側面に塗って固定します。また、「平張り（ひらばり）」は、パネルより小さいサイズの紙を、パネルの表面にフラットな状態で水張りテープで張り込む方法で、木製パネルの代用に合板を使用する場合や、パネル上に複数枚を同時に張り込むことができます。

作業上の注意として、「パネル張り」で新品の木製パネルを用いる場合、木材に糊が浸透し接着力が低下するのを防ぐため、事前に木製パネルの側面に糊を塗り乾かす「捨て糊（すてのり）」という作業を施すことで皮膜をつくります。水張りの際に用いる刷毛は、彩色や他の用途などに使用してないきれいなものか、水刷毛（みずばけ）のような専用の用途のものを使いましょう。また、パネル張り用に紙を購入する場合は、必ずパネルサイズよりも大きなサイズの紙を選びましょう。

制作後に木製パネルから紙を剥がす場合は、側面の一箇所V型にカッターで切れ目を入れ、そこからパネルと紙の隙間にカッターの刃を差し込んで、切り離します。日本画制作では、その後の処理法で紙の剥がし方が変わります。

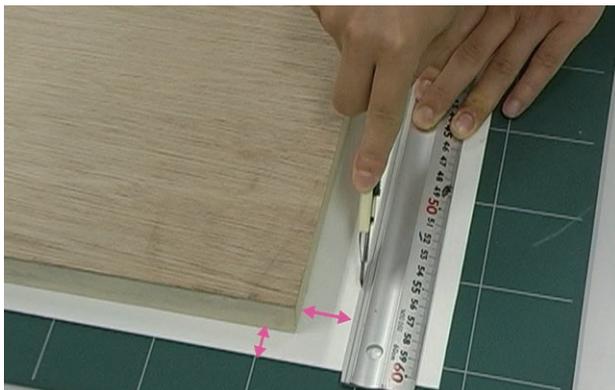
水張りした状態で長期間の作品保存する場合は、パネル合板の木材の酸化、時間経過や湿度によるアクの発生などで作品に影響をあたえる恐れがありますので、木製パネルの表面に紙（新鳥の子紙等）を糊付けする下張りなどを施すと良いでしょう。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字

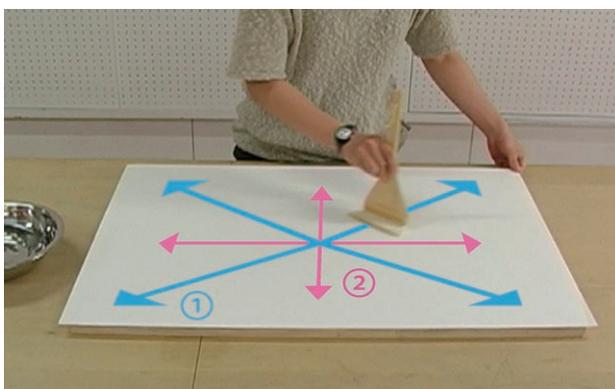
水張りの手順 (パネル張りの場合)



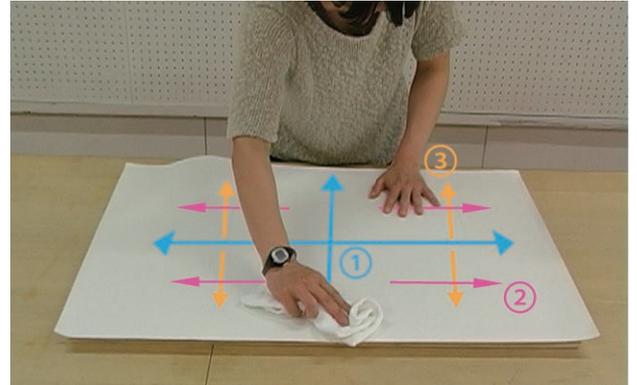
手順1. 水張りテープを4辺分、木製パネルより数センチ長めに切り、用意しておきます。



手順2. 紙を木製パネルより周辺4辺の糊しろ部分を余分に取った大きさに裁断します。



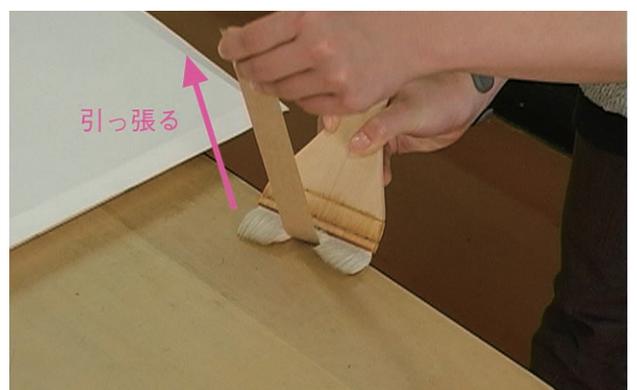
手順3. 木製パネルの上に紙を裏面が上になるように置き、水刷毛またはスポンジに水を含ませ、紙の裏面に水を引きます。このときに対角線方向から塗り始めてから縦横、さらに全体へ塗ることで、水分が全体に均一に行き渡ります。



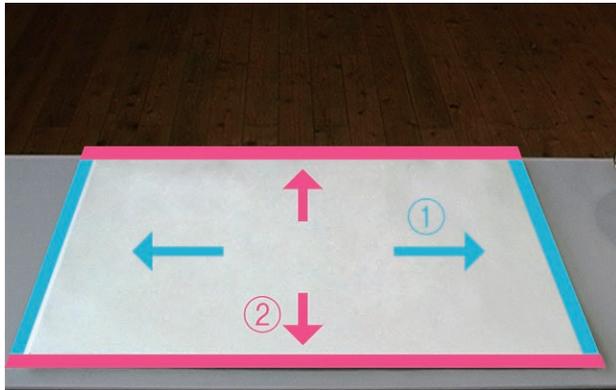
手順4. 紙に水がしみ込んだら、紙をひっくり返して表を上にして木製パネルの上に置き、上下左右の折り込みが均等になるように位置を調節します。木製パネルと紙が密着するように軽く布をあてて、間の空気を抜きます。まずは十文字に中央から外側へ、次にその十文字と平行に全面を中央から外側へ空気を抜きます。



手順5. 空気を抜きながら、紙の4辺に折目を付けます。



手順6. 水張りテープの糊面を水刷毛で湿らせます。水張りテープ湿らせるのは1本ずつ、1辺貼るごとにします。



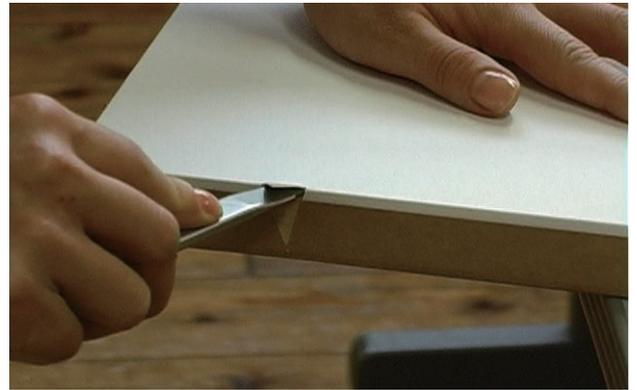
手順7. 紙が伸びる側の辺から水張りテープを貼り、折り込みながらパネルの端に接着します。



手順8. 角は乾燥後に皺になりやすいので、丁寧に張り込むように注意します。余分な水張りテープは隣の側面に折り込みます。



手順9. 完成。水張り直後は紙が波打っている場合がありますが、紙が完全に乾燥して収縮するときれいに張ります。



【補足】 制作後に木製パネルから紙をはがす場合は、側面の一部にカッターでV型に切り込みを入れます。できた隙間にカッターの刃を差し込み、滑らすように切ります。1辺切るときに木製パネルを回転させて切り離します。

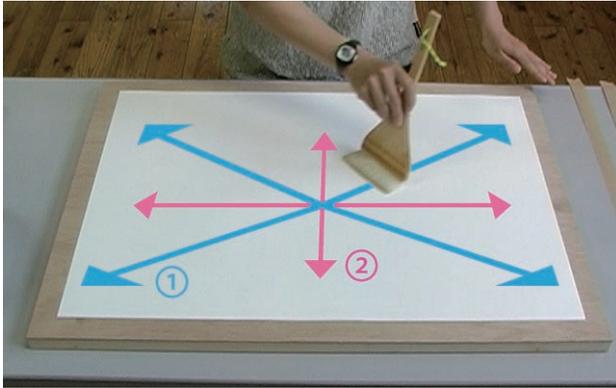
水張りの手順（平張りの場合）



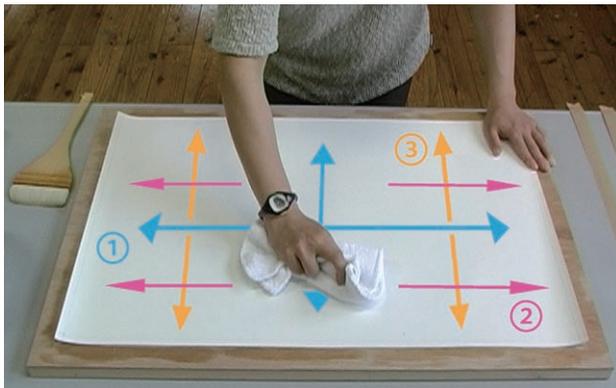
手順1. 水張りテープを4辺分、紙より数センチ長めに切ります。



手順2. 紙の表面の4辺より1cm程度内側に、水張りテープを貼る箇所の印を付けておきます。



手順3. 木製パネルの上に紙を裏面が上になるように置き、水刷毛またはスポンジに水を含ませ、紙の裏面に水を引きます。このときに対角線方向から塗り始めてから縦横、さらに全体へ塗ることで水分が全体に均一に行き渡ります。



手順4. 紙に水が十分しみ込んだら、紙をひっくり返して表を上にして木製パネルの上に置き、上下左右の折り込みが均等になるように位置を調節します。木製パネルと紙が密着するように軽く布をあてて、間の空気を抜きます。まずは十文字に中央から外側へ、次に全体を十文字と平行に中央から外側へ空気を抜きます。



手順5. 水張りテープの糊面を水刷毛で湿らせます。水張りテープ湿らせるのは1本ずつ、1辺貼ることにします。

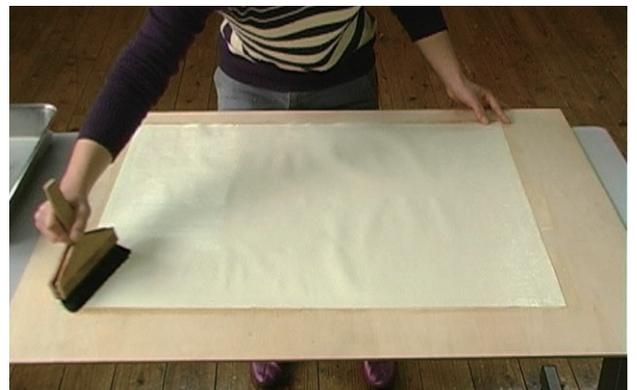


手順6. 紙が伸びる側の辺から水張りテープを貼り、折り込みながらパネルの端に接着します。



手順7. 完成。水張り直後は紙が波打っている場合がありますが、紙が完全に乾燥して収縮するときれいに張ります。

水張りの手順 日本画の場合



手順1. [下張り] 紙（新鳥の子紙など）を木製パネルの側面分を余分に取ったサイズに裁断します。紙裏面が上になるように置き、水で溶いたでんぶん糊を糊刷毛で均一に塗ります。



手順2. 紙をひっくり返して表面を上にして木製パネル上に置き、上下左右が均等になるように位置を調節します。空気が入らないようにタオルなどで軽く押さえつけて接着します。側面は中央から外側へ順に張り込みます。



手順5. [水張り] 本画に使用する和紙（本紙）を木製パネルの側面分を余分に取ったサイズに裁断します。



手順3. 乾燥してから、角の余分な部分を切り取ります。



手順6. 和紙の4辺に折り目をつけ、糊しろ部分をつくります。和紙の裏面が上になるように置き、水刷毛に水を含ませ、水を均一に塗布し（引き）ます。



手順4. [捨て糊] パネル側面4辺に糊を塗って完全に乾かします。このとき画面に糊が付着しないように、画面側半分は糊が付かないようにします。



手順7. 糊しろ部分の水分は、和紙の切れ端などを使って吸い取ります。



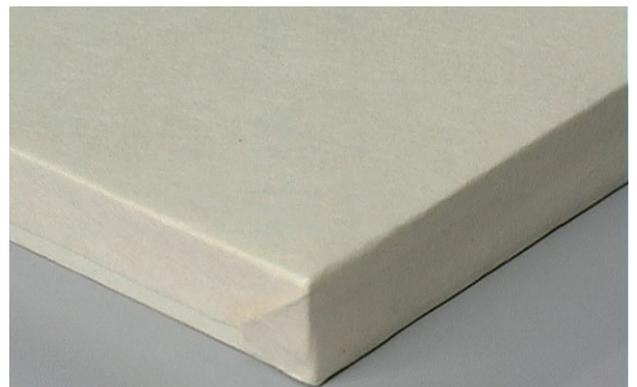
手順 8. 和紙の糊しろに糊をつけます。このときも画面側半分は糊が付着しないようにします。



手順 11. パネルと和紙に隙間ができないように、爪で軽く押さええます。



手順 9. 和紙に水分が十分に染み渡ったら、和紙をひっくり返して表面を上にして木製パネル上に置きます。上下左右の糊しろが均等になるように位置を調節して、和紙の4辺を折り込んで張り込みます。



手順 12. 角の余分な和紙は、糊をつけて折り込んで接着します。



手順 10. 角は乾燥後にシワになりやすいので、角の両端付近を少し引くようにして丁寧に張り込みます。角の和紙にでんぷん糊を塗り、側面に折りたたみます。



手順 13. 側面の糊が乾かない内に、張り込んだ和紙の表面に水刷毛で水を引きます。完成。水張り直後は和紙の表面が波打っていることがありますが、和紙が完全に乾燥して収縮するときれいに張ります。